



## 福は内、鬼は外

節分の日の二月四日、慈覺大師誕生の地として知られる上新町の紫雲山王生寺で、恒例の節分祭が行われ、大勢の人出でにぎわいました。境内に設けられたやぐらでは、お宝まきが行われ、家内安全、商売繁盛などとともに、「今年こそこの不況を追い払って、よい年になるように」との願いを込め「福は内、鬼は外」と、威勢のよい掛け声が飛んでいました。

# どこにある解決策

## 「非行問題」の調査結果まとまる



子どもたちの健やかな成長はみんなの願いです

### ほとんどの親が非行に強い関心

### 6割が原因は「家庭」と答える

- 子どもの非行問題についてどう思うか
- ①非常に困ったことで、なんとかしなければならぬ 24人 81.4%
  - ②困ったことであるが仕方がない 19人 66.3%
  - ③たいして心配するほどのことではない 13人 43.3%
  - ④少しは心配しているが、問題にしない 4人 13.3%
  - ⑤特に関心をもっていない 3人 10.0%
  - ⑥その他 17人 57.0%
- 「非常に困ったことで、何とかしなければならぬ」が七五%で「絶対やめさせる」が七五%です。さすがに親の強い態度が表われています。しかし、「家の中でするくらいならおとなとおおしくらいなら注意しない」と、黙認の態度の親が合わせて七・七%となっております。注目されます。

「しなければならぬ」と答えた人が、全体の八一・四%と圧倒的に多く、ほとんどの人が強い関心をもって、真剣に考えていることが分かります。

③世の中に 44人 14.7%  
④本人にある 33人 11.0%  
⑤学校にある 6人 2.0%  
⑥その他 10人 3.3%  
⑦「家庭にある」が四〇・二%でトップ、次いで「家庭と学校にある」が二八・七%で、約六〇%の人が原因は家庭にあるとみています。

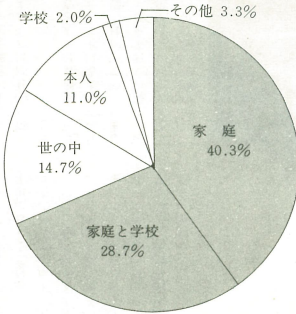
### たいせつな家庭のしつけ

非行を少なくするにはどうしたらよいかと思うか

- ①家庭のしつけに力を入れる 104人 34.7%
  - ②子どもの考えをもっと理解してやる 72人 24.0%
  - ③スポーツや奉仕活動などのグループ活動に積極的に参加させる 72人 24.0%
  - ④街頭の指導に力を入れる 28人 9.3%
  - ⑤学校の生徒・児童指導に力を入れる 8人 2.7%
  - ⑥その他 16人 5.3%
- 「家庭のしつけに力を入れる」が最も多く、三四・七%を占め次いで「子どもの考えをもっと理解してやる」が二四・〇%ととなっております。約六〇%の親が家庭教育に力を入れることを望んでいます。

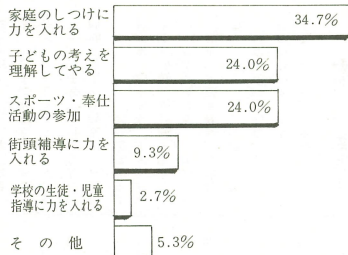
「親子の話し合い」が必要なことだが言わねばなら十分にに行わねば理由はない

- ①話し合っているので関係ない 13人 44.7%
- ②忙しくて時間がない 64人 21.3%
- ③話し合っているうちに、言い争いになってしまっている 20人 6.7%
- ④話し合ってもあんなふうにならないから 11人 3.7%
- ⑤話し合えば、特に必要だと思われない 10人 3.3%
- ⑥話し合っても、お互いに理解できない 9人 3.0%
- ⑦わずらわしい 4人 1.3%
- ⑧その他 48人 16.0%



非行の原因はどこにあるか

### 非行を少なくする対応策



### 他人の子どもでも注意する

- 公衆道徳を可視化しない場合、どんな態度をとるか
- ①守るよう強く注意する 27人 90.4%
  - ②一応注意する 18人 60.0%
  - ③大人になれば、自然に身につくと思うので注意しない 0人 0.0%
  - ④一人ぐらい守らなくても、たいたことではないので注意しない 0人 0.0%

### 他人の子どもが非行したときどんな態度をとるか

- ①やめようとする 49人 0.0%
- ②学校へ連絡する 18人 7.7%
- ③警察へ連絡する 20人 3.3%
- ④他人の協力を得て、やめるよう注意する 9人 3.3%
- ⑤家庭へ連絡する 16人 3.3%
- ⑥万引、シンナー…… 10人 3.3%
- ⑦万引、シンナー…… 10人 3.3%
- ⑧万引、シンナー…… 10人 3.3%
- ⑨万引、シンナー…… 10人 3.3%
- ⑩万引、シンナー…… 10人 3.3%
- ⑪万引、シンナー…… 10人 3.3%
- ⑫万引、シンナー…… 10人 3.3%
- ⑬万引、シンナー…… 10人 3.3%
- ⑭万引、シンナー…… 10人 3.3%
- ⑮万引、シンナー…… 10人 3.3%
- ⑯万引、シンナー…… 10人 3.3%
- ⑰万引、シンナー…… 10人 3.3%
- ⑱万引、シンナー…… 10人 3.3%
- ⑲万引、シンナー…… 10人 3.3%
- ⑳万引、シンナー…… 10人 3.3%

### 他人の子どもが酒を飲んだり、たばこを吸ったりどんな態度をとるか

- ①注意して絶対やめさせる 25人 75.0%
- ②一応注意する 38人 12.7%
- ③家の中でするくらいならおとなにおおしくらいなら注意しない 21人 7.0%
- ④少しくらいなら注意しない 2人 0.7%
- ⑤その他 14人 4.6%

壬生町民憲章 心のふれあいを大切に教養と文化の高い町をつくります

3月は「緑化推進の月」です

# 土地取引の前に

## 市街化区域二千㎡ 市街化調整区域五千㎡ 届出を 以上

国土利用計画法では、土地の投機的取引と地価の高騰を防ぐため、一定面積以上の土地取引を行う両当事者（売買の場合は売り主と買い手）に届出を義務づけています。



届出は契約の六週間前、契約を結ぶ六週間前までに、取引予定地のある市町村長を経由して、届出書に取引の予定価格、その土地の利用目的等を書いた届出書を提出しなければなりません。

届出の必要な土地取引  
届出なければならぬ土地  
取引は、土地の売買・交換・代物有償（例えば金銭の代わりに土地で支払いをする場合）、地上権の設定・賃借契約を行う場合で、次の面積以上です。

- 市街化区域 二千㎡
- 市街化調整区域 五千㎡

なお、次の場合にも届出が必要です。

- ▼小規模な土地の所有者多数から土地を購入する場合や、面積の大きな土地を多くに区分けて売却する場合のように、個々の取引面積が小さくても合計すれば、前記の面積以上になる場合
- ▼立ち木、建物などを土地と一緒に取引する場合
- ▼売買・代物有償の予約をする場合

届出から契約まで  
届出は、届出を受けると、公示価格などと比較して高すぎないか、道路等の整備状況、周辺の自然環境との関係など不都合がないか、などについて審査し、問題なければ、届出日から六週間以内に文書で通知します。

この通知を受ければ、初めて契約をすることができます。

また、適正でない点があるときは、学識経験者で組織される土地利用審査会の意見を聴いて取引の中止、利用目的や価格の変更などの勧告をすることがあります。

## 教育長に糸川氏

### 教育委員に松本氏が就任



大川幸治教育長の任期満了に伴い、後任として助谷八六番地の一糸川敏雄氏(56)が教育長に就任した。

### 教育長退任に

#### あたって

二期八年の任期を満了し、昭和五十九年一月二十一日壬生町教育委員会教育長の職を退任いたしました。その間、お三方の町長・長部局の方々、町議会、町民各位の理解と指導と協力いただきましたことに対し、謹んでお礼申し上げます。

### 大川 幸治

二期八年の任期を満了し、昭和五十九年一月二十一日壬生町教育委員会教育長の職を退任いたしました。その間、お三方の町長・長部局の方々、町議会、町民各位の理解と指導と協力いただきましたことに対し、謹んでお礼申し上げます。

## 町史研究



### 温故知新

#### (史料をたずねて)

充実した町史をつくるには、良質な史料を集めることが不可欠で、そのためには町内のみならず、県内、全国各地に探します。



三浦義次氏夫妻 願談する清水町史編さん委員

めなればなりません。今回の調査は、まず京都大学を訪れ、壬生家文書の調査と撮影をすませました。

同文書によって、近世における下野壬生氏の旧臣と京都の壬生家の交流の真相がよくわかるのです。

次に訪れたのは、滋賀県湖東の西沢源治さんのお宅です。西沢さんは日根野氏の子孫で、日根野吉理が、慶長七年から寛永十一年まで壬生在城していたので、その間の史料が残っているかもしれないと考え、訪問した訳です。しかし、残念ながら過去帳など若干を撮影するにとどまりました。

次の訪問地は、岡山県の勝山町。岡山駅から特急バスで二時間半あまりの山間部です。勝山には、寛永十六年から元禄五年まで、壬生在城していた三浦義次、寅次、明敬の子孫、三浦正次氏がいちかです。三浦さんのお宅は、町はずれの小高い所にあり、別荘のようなたずまひものでした。御前様と呼ばれている氏は、すでに八十歳をこえる高齢でしたが、我々の訪問を喜んでくれ、壬生と三浦氏の関係などについて、覚えていろいろ話して



### 上稲葉の天神様

大字上稲葉の中段、日光西街道の西側に大きな櫛の森があり、その中に立派な社の天神様が鎮座しています。この天神様は「梅林天満宮」と称し、一つの頃か分りませんが、京都の北野天満宮から勧請したとされています。もちろん、御祭神は菅原道真です。

道真は平安時代の人で、幼時から大変賢明で、宮廷に仕えて右大臣にすまいましたが、ざん言にあつて太宰府に流され、遂に延喜三年(九〇三)五十九歳

書室で史料を調査、撮影して、次の目的地岡山へ向かいました。

史料調査は結局、このように人の縁を丹念にたどっていくことにより、新貴重資料を見いだしていくことなのです。

町史編さん専門委員(東京都史料編さん所員) 黒田日出男



学問の神様で有名な天神様(上稲葉)

で亡くなりました。死後、京都の北野に天満天神として霊が崇められ、学問の神として例の尊崇をうけるとともに、その分霊が全国の各地に祭られました。上稲葉の天神様の祭りは、上町、下町、下馬木の氏子の方々が交代で、二月二十五日毎年行っています。昔は二十五、二十六の両日行われましたが、現在は二十五日だけです。

学問の神様にあやつて、昔は子どもたちが、奉納梅林天満宮と書いた習字を競って奉納しましたので、神社の周りはそれらで埋まるほどでしたが、今はその風習もほとんどなくなり、祭りの日にはかたさんの露出も張られ、近郷近在からの参拝者もあつて、今でも大変にさわっています。

# 友情深め友好の輪広げました

## 栢尾さんら六人無事帰国

### 栢木県青年の船

#### 青年の船は「心の師」

上通町 栢尾実効



第九回栢木県青年の船は、十一月六日から二十日までの十五日間の日程で、中国・沖繩を訪問しました。私たちが町からは、栢尾実さん、渡辺陽一さん、渡辺好央さん、黒川由紀子さん、平田和子さんの五名と、研修指導者の伊藤仁一さんが参加され、友情を深め、日中友好の輪を広げられました。この六人の方々に、体験や感想を報告していただきました。

でている本当の優しさでした。船内での研修も有意義でした。外航から隔離された環境での船内研修は、今後体験することはできないでしょう。このような環境だったからこそ、別れの時きれいな涙が流せたのかもかもしれません。

日本人である我々に、なぜ中国人の目がまぶしいほど輝いて見えたのでしょうか。課題は残りますが、このようなすばらしい体験をさせてくれた町や県に、研修成果を生かし、貢献していくと強く思っています。私には青年の船で、数多くの勉強や思い出、そしてすばらしい仲間に出会えて、本当に幸せ

#### 偉大なる国中国

世界の華であり、日本の文化の原点である、そして、日本人の根拠地でもある中国大陸の緊張に恐れ、膝はがくがく顔は垂れました。でも、人々は私たちを温かく迎えて入れてくれました。涙の涙も止まり顔の垂れもとれ、改めて日本の何十倍も



台坪 黒川由紀子(27)

最後は、私が青年の船を語るならば、我が国が忘れていた何かを思い出してくれた「心の師」の一言に尽きます。

日本のような自動販売機などなく、すべて窓口で買いかめるのです。私たちのような制服を着用した青年が北京までの高額な切符をあっさり求めることに疑問を抱いていたようでした。そこで、私たちが怪しい者でないこと、また説明し、最終的に、記念のため欲しいことを説明するとうまく理解してもらえ、四人分の切符を売ってくれました。この時は、お互いが理解し合えたこと、思わず「パンジー」と叫びたくなるほどでした。中国では、熱烈な歓迎を受け数多くの人たちと交流の機会を帯び、天津市人民体育館での芸能や軽スポーツ交歓、大連市での中国青年との座談会、訪問地で参観活動、そして船上招待パーティ等、日中両国青年の深い友好の絆となつて表われ、栢木県青年の代表としての重責を無事に果たし得た喜びが、団員一人ひとりの胸に深く刻みこまれました。



貴重な体験を今後役に立たない

稲葉下馬木 渡辺陽一(28)

中国の文化は、日本に比べまだまだ遅れていますが、万里の長城や故宮博物院などは、さすがに五千年の歴史を物語っていると思います。山脈の頂上に六千キロにも続いているという万里の長城の雄大さ、それを造

の面積をもち、十二億もの人々五十二種族もある民族、偉大な国の母を見ることでました。これだけの面積と人とと慣習の違い民族を統一することは多くの人々の力と時間と何より多くの人々の犠牲があったに違いないと思いましたが、建国三十年、日中友好協約が結ばれたのもついで最近のこと、二十年近くも入国できなかった理由も分かるような気がしました。

私たちの訪問地は、まず天津に入港、天津から北京約四時間半バスに揺られ、改めて「大陸なんだ」ということを思い知ら

されました。五日間、秒刻みのスケジュールをこなすだけで精一杯の私でしたが、子どもたちのおらかな微笑み、青年たちのキラキラと光る目をしっかりと脳裡に刻み込んできました。日本と社会制度は違いますが、未来に向かつてまだ見たことのない長江や黄河のよたよたゆたゆた大きな力を動かしている「国だ」と、私は見えてきました。

私がおもつと違った物の見方ができるようになったら、もう一度中国を訪ねてみたいと思います。

りあけた人々の努力、それに天津の故宮博物院を見学して、その広大さには、驚きました。私は、とても感動しました。中国の日本に対する歓迎は、とても感謝しました。青年の船が、天津港に着くと、とても冷たい風の吹くなかを、凍える手ごすすりながら、歓迎の手を振り、笛や太鼓を打ち鳴らす子どもたち。そればかりでなく、バスで中国を見学したとき、いつもバスの先頭前三台のバスターが一つついて、赤信号は三台のバスターまでもバスのために止めてしまふのでした。この歓迎が、他の国で考えられるでしょうか。いかに中国の日本に対する友好

の熱意があるか、うかがえると思えます。

帰りの沖繩では、私は戦争の本当の恐ろしさを深く感じ、二度とこのようにことを起こしてはならないと思っています。

船内では、東京「晴海ふ頭」に入港する前後、さながらハイティーンがわれ、友に笑い語りあつたような仲間たちと涙を流して別れを惜しまました。たった二週間でも、こんなに感激して心に残る日はありませんでした。私はこの貴重な体験を一生忘れず、これからの社会生活に役立てていきたいと思っています。



自分をみつめ直してみたい

おもちゃのまち 平田和子(24)

十五日間の研修で一番印象深く残っていることは、組での自由行動です。私は、大連の仲間四人で大連市内を散策し、途中記念に切符を購入しようとして、大連駅へ向かいました。そこでは



研修指導者 伊藤仁一(41) 城南

船という一つの閉鎖的な社会において、十五日間の長期行動を共にすることは、私を含め、青年たちにとってあまりにも経験に乏しく、未知なる体験への出発でした。

船内生活では、親しき友情が溢す半面、わかまや意見の対立がでてこないだろうか、などといういろいろな思いが頭の中に錯綜してしまいましたが、乗船して

#### 友情と連帯の絆に 結ばれて

出航式では、弓場船長から「私たちが今日から運命共同体となる。手を取り合って、苦しいことも楽しいことも分かちあい元気にやっつけようではないか」との激励を受け、船内生活での行動が一日一日と確実に実践されてきました。

遠く祖国を離れ、船内生活の苦勞を乗り越え得た友情と連



日本の真の姿をみつけることができた

中泉 渡辺好央(28)

待望の中国は、見渡す限り地平線が果てしなくのび、我が国との違いに驚くばかりでした。教科書等で学んだ語史跡は、さまざまな時代を生きた抜いた人の歴史を語るかのようになかなかた

得ましたが、果たして真の交流が行われたでしょうか。私たちはまだ中国のほんの一部しかふれてません。それだけに中国が奥深く興味深い国に思えるのです。また、青年たちの熱い視線今の日本の青年にはない輝きを感じました。私たちが負けてはなりません。今、何かをやらなければ、生活の豊かさに溺れ、自分を、また日本を見失うことにもなりかねません。

今回の研修を単なる人生の一ページに終わらせたくなく、これを機会にもう一度、自分自身を、そして日本の将来を考えたい、と思います。

今の中国を感ぜずにはいられませんが、現在の町並は、数年前の地震のためか、再興風景が、テレビで見えた昭和初期の日本を見ていたようでした。その姿は、国民一人ひとりが同一の目的に向かって動く、まさに国の動きのようであり、空恐しさを感じました。

短期間で高度経済成長したわが国に比べ、五千年におよぶ歳月をゆとりと歩むその勇姿、大陸で多くの支流を集めて力強く流れる大河のようです。その風情には世界の広さを実感せずにはいられませんでした。

今私たちに、先輩たちの築いた文化・経済的資産に見ることなく、未来社会を維持改善するための大きな推進力を培う高い見識が必要と思わされます。

国際化が問われる現代社会でも、経済・文化各方面にわたる国際化の進展には、著しいものがあります。今回の海外派遣でわが郷土はもちろん、わが国の真の姿を一時的には見つけたこと、それがまた、大きな成果でした。

これを機に、私たちは随時世界に視野を広げ、青年の船で得た貴重な体験を職場・地域社会に生かすよう取り組まなければなりません。



あなたの一本が暮らしに  
生かされています

たばこを買うときは町内で

一億一七九万三千円……  
この数字が何だか分かりますか。  
これは「たばこ消費税」として、昭和五十七年度に町に交付されたお金です。  
ご承知のように、消費税がたばこを買うと、買った所の市町村に、その数量に応じて「たばこ消費税」が交付されます。具体的にたばこ一箱（二十本入）

昭和57年度  
市・町別たばこ消費税納付状況

市・町・名	消費税納額 単位数千円	対前年比	1人当り 納付額
壬生町	117,983	104.0%	3,253円
栃木市	369,650	110.1	4,301
藤岡町	67,069	106.8	3,287
岩舟町	52,930	98.0	2,918
大平町	109,040	106.7	4,330
都賀町	41,787	104.1	3,093
粟野町	4,876	97.1	2,393
佐野市	362,984	108.7	4,504
田沼町	120,891	107.9	4,064
葛生町	62,860	100.2	4,006
合 計	1,310,275	107.2	4,014

1月の町内価格調査結果（△は減）

品名	単位・品質	最低値～最高値	平均	前月対比
小麦粉	1kg	178～248	201	△ 0.4
豚肉	100g	130～240	174	1.7
サラダ油	1,650g	458～688	564	△ 1.2
砂糖	1kg	240～278	242	△ 1.6
しょう油	1kg	198～530	275	△ 2.5
塩さけ	100g	130～278	185	4.5
ツナ缶	100g	100～250	178	3.4
シーチキン	100g	98～220	172	2.3
インスタントコーヒ	150g	698～1,128	963	2.2
キャベツ	1kg	28～300	169	30.0
卵	10個入り	161～210	187	△ 11.7
ティッシュ	200枚入り	118～240	146	0.6
トイレットペーパー	4ロール	160～271	207	8.3
洗剤	2.65kg	850～960	897	0.2
洗剤	2.65kg	850～960	900	0.5
台所用洗剤	600ml	270～370	325	△ 6.7
ラップ	30cm×20m	168～200	186	1.0
灯油	18リットル	1,340～1,850	1,518	△ 3.2
プロパンガス	5m <sup>3</sup>	2,640～3,000	2,683	0
ガソリン	1リットル	145～150	146	△ 3.4

精忠神社の宝物が  
県立博物館に展示

県立博物館の企画展「日光参詣の道」に、精忠神社（城内）所蔵宝物の、馬印、矢箱など六点が、三月十一日まで展示されており、この機会にぜひ、他の展示物とあわせてご覧ください。

善意銀行

○金三〇〇〇円  
おもちやのまちキリスト  
教土曜学校様

まちのうごき

2月1日現在  
人口 36,445人（-19）  
男 18,135人（-14）  
女 18,310人（-5）  
世帯数 10,177世帯（+4）  
（ ）内は前月比

金融機関は毎月、  
3月は10日です  
第二土曜休業です

Smokii Clean

ちみとした  
心がかい味のうち



守ってませんが喫煙マナー

日本専売公社